

差圧式レジスター  
室内給気部材 形名  
**SRCV-150F**



**取扱説明書(取付説明書付)**

この製品は気密性の高い住宅等で汚れた空気を排気するときに必要な新鮮な外気を取り入れるためのもので、レンジフードファンなどの換気扇とともに使用するものです。

- 取付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。
- 取付けは販売店・工事店さまが実施してください。

**取付け終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。**

ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

**安全のために必ず守ること**

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。



**注意**

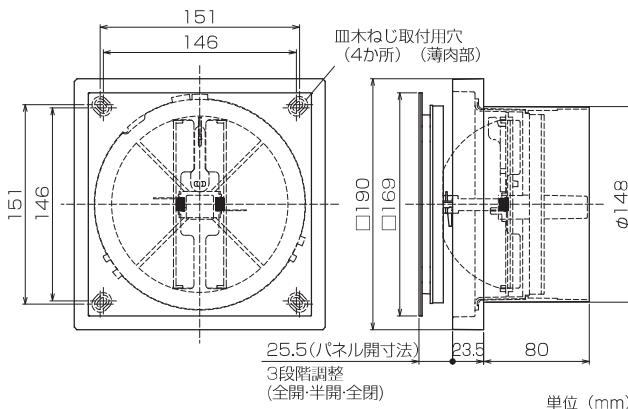
誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの



指示に従い  
必ず行う

- 取付けは確実に行う  
(落下によりけがをする原因)
- 取付けやお手入れの際は、手袋を着用する  
(着用しないとけがをする原因)

**外形寸法図**



**■付属部品**

- 気密パッキン(厚さ3mm)… 1本
- 気密パッキン(厚さ5mm)… 1本

**■適用パイプ**

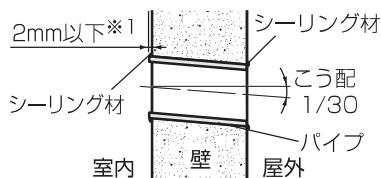
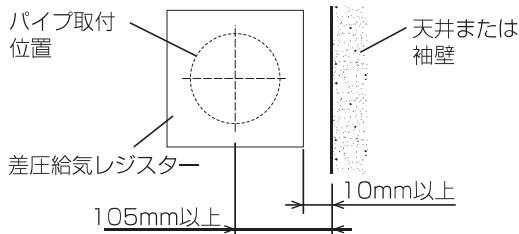
- 硬質ポリ塩化ビニル管 (LP-150特)  
※硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) には  
取付できません。

**取付け前のお願い**

- この製品はC値（床面積当たりの隙間面積）=1.0cm<sup>2</sup>/m<sup>2</sup>以下かつ床面積が100m<sup>2</sup>未満の住宅に適用します。  
上記条件が確保されない場合にはシャッターが十分に開かないことがあります。
- 屋外環境に適したフードを選定してください。
- 屋外部材を組合わせる場合、壁厚が薄いと取付けられない場合があります。
- 直接炎・油煙があたるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用できません。
- 屋外（外気）の環境によっては、壁（天井）を汚すことがあります。また、小さな虫は侵入する場合がありますので、屋外側においては外灯などから離れた場所を選んで取付けてください。
- 外気（冷気）侵入や雨水浸入、虫侵入の影響のない場所を選んでください。
- 外気の取入れは燃焼ガスなどを吸込まない、積雪で埋もれたりしない場所を選んでください。
- 高温（40°C以上）になる場所・浴室などの湿度が高い場所では使用できません。
- 下記環境下で使用しますとシャッターおよびパネル表面から結露水が滴下することがあります。  
(屋外温度が-5°Cを下回り、かつ室内温度20°C、室内湿度が50%RH以上)
- 本体の取付場所はガス機器の設備基準に従って炎の立消え等ガス機器への悪影響の無い場所で室内がよく換気される場所に取付けてください。（炎の立消えなどで一酸化炭素中毒をおこすことがあります）
- 火災警報器がある場合は、感知部から1.5m以上離れた場所に取付けてください。
- フィルターのメンテナンスができる場所に取付けてください。
- 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP管) には取付けできません。
- 接続するパイプは雨水の浸入を防ぐため、屋外に向けて1/30の下りこう配をつけてください。
- 設置したパイプのねじ固定部付近へは取付けないでください。本体のパイプガイドが変形し、パネルユニットの回転・着脱不具合の原因となります。
- 設置したパイプに変形（ツブレ等）がある場合は、製品を取付けないでください。
- 石こうボードにねじ固定する場合は、必ず市販の石こうボード用アンカーを使用して取付けてください。
- 有機溶剤入のシーリング材などは樹脂を溶かすので使用しないでください。

# 取付方法

## 1. 取付け前の準備



※1 製品取付面にシーリング材がある場合

### 1. 取付場所を決める。

- お手入れの際、パネルユニットの脱着が必要になるため、左図を参照してください。

### 2. 製品に合った適用パイプを壁に埋込む。

- 屋外に向けて1/30の下りこう配をつけてパイプを埋め込んでください。
- 石こうボードにねじ固定する場合、石こうボード用アンカー（市販品）を使用して取付けてください。取付用穴位置は、外形寸法図を参考にし、石こうボード用アンカーに合わせてねじ固定してください。
- 製品取付面にシーリング材などがはみ出す場合、2mm以下としてください。

### ■取付方法は下記に従って選定してください。

取付方法	取付場所 壁	
	取付高さ1.8m以上	取付高さ1.8m未満
ねじ固定	○	○
シーリング固定	×	○

○:推奨 ×:不可

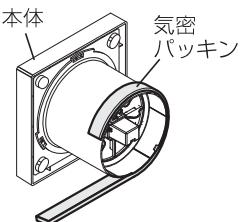
## 2. 本体の取付け

### お願い

- 本体とパネルユニットの間に砂などが付着するとパネルユニットの着脱不具合の原因になりますので、本体とパネルユニットを清掃してください。
- パネルユニットを固定する際、必ず「カチッ」と音がするまで右に回転させてください。固定が不十分な場合、パネル開閉動作の不具合やパネルユニットが落下するおそれがあります。

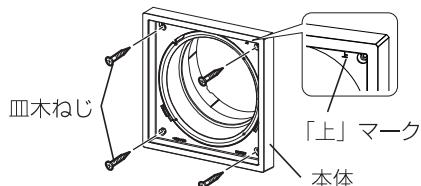
### 市販の皿木ねじで取付ける場合

1. 気密を確保するため、パイプ径に合わせて付属の気密パッキンを本体パイプの端面を基準に巻き付ける。

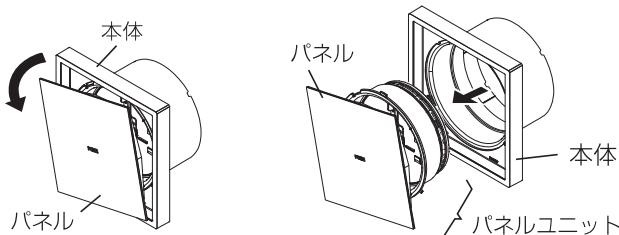


3. 取付用長穴を用いて市販の皿木ねじ（4本）で固定する。

- 本体の「上」マークを上側にして取付けてください。
- 皿木ねじはφ4.1以下で長さ30mm以上を使用してください。
- 固定の際、本体が変形しないように取付けてください。すき間やパネルユニットの回転・着脱不良の原因となることがあります。

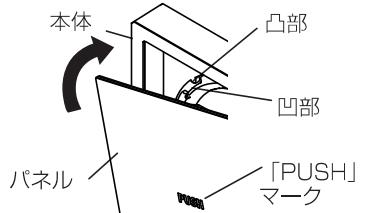


2. パネル中央部を押して全開にする。パネルを左に回転させてから手前に引き抜き、本体からパネルユニットを取り出す。

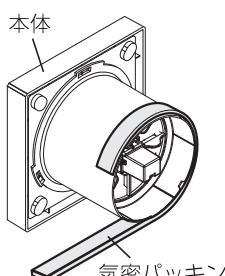


4. パネルユニットの凹部を本体の凸部に合わせて、パネルを右に回転させて固定する。

- パネル中央部の「PUSH」刻印が読める向きにして取付けてください。

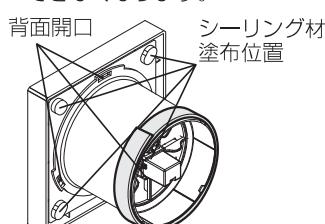


1. 気密を確保するため、パイプ径に合わせて付属の気密パッキンを本体パイプの端面を基準に巻き付ける。



2. 下図の本体4か所にシーリング材を塗布する。

- 背面開口（3か所）にシーリング材を付着させないでください。パネルユニットが回転できなくなります。

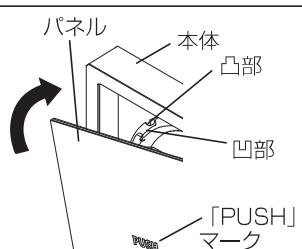


3. 製品の上下を確認し、設置したパイプへ水平に差し込み確実に固定する。

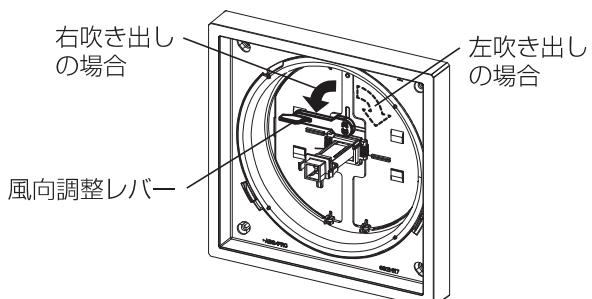
- 設置したパイプ内のほこり、水分をきれいにふき取ってください。
- 取付面と本体の間にすき間ができないように取付けてください。
- 壁との間にすき間ができた場合は市販のねじで固定してください。

4. パネルユニットの凹部を本体の凸部に合わせて、パネルを右に回転させて固定する。

- パネル中央部の「PUSH」刻印が読める向きにして取付けてください。



## 風向の調節をする場合



- パネルユニットを取りはずした状態でユニット内部の風向調整レバーを左右どちらかへ90°回転させてください。

レバー固定位置	風向
右	左吹き出し
左	右吹き出し

※レバーが操作しにくい場合は、パネルユニットからパネルを取りはずしてください。（パネルの取りはずしかたは下記の【お手入れ1項】を参照ください）

## 使用方法

※この製品はパネルを押すことで、3段階（全開・半開・全閉）の開口面積の調節が可能です。  
強風・豪雨時または冷気の侵入を感じる場合など、状況に応じて調節してください。

全開にする場合	半開にする場合	全閉にする場合
全閉状態からパネル中央部を押すことで全開となります。	全開状態からパネル中央部を1段階押すことで半開となります。	全開状態または半開状態からパネル中央部を押し込むことで全閉となります。
全閉 → 全開	全開 → 半開	全開または半開 → 全閉

### お願い

- 通常は全開状態で使用しますが、台風など外風が強い場合や水滴が入るおそれのある場合はパネルを「全閉」にしてください。その後は必ず「全開」にすることを忘れないでください。
- 使用環境条件により結露が発生することがあります。結露が発生した場合、水滴はふき取ってください。

## お手入れ

フィルターにほこりが付着しますと風量低下などの原因になりますので、2か月に1度を目安に清掃してください。

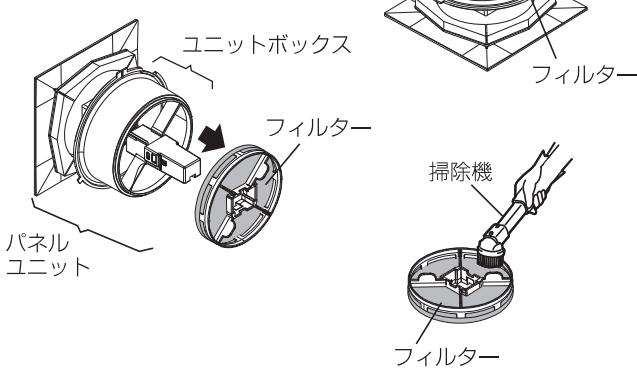
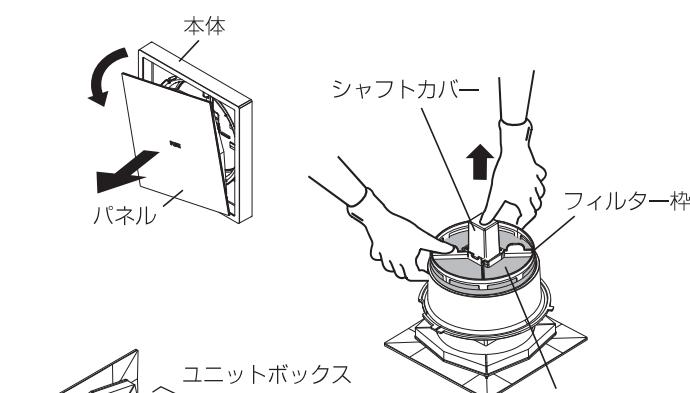


## 注意



指示に従い必ず行う

- お手入れの際は、手袋を着用する（着用しないとけがをする原因）

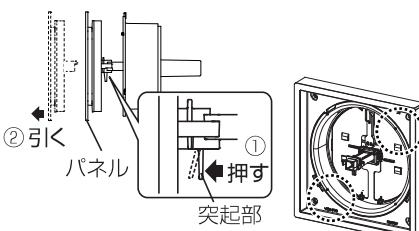


交換用フィルター  
FR-CV150

### お手入れの際は足元が不安定な状態で部品の脱着を行わないでください。

- パネル中央部を押して全開にする。  
パネルを左に回転させてからパネルを手前に引き抜き、本体からパネルユニットを取り出す。

#### 袖壁が近い、またはパネルの回転がスムーズでない場合



- パネル裏側の突起部を左図のように押しながらパネルを引き抜く。
- ユニットボックスの凸部（左図の○部）に指をかけて左に回転させてから手前に引き抜き、本体からユニットボックスを取り出す。
- 取りはずしたパネルは、ユニットボックスの取付けがすべて完了した後、元通り取付けてください。

### 2. フィルターを取りはずす。

- 図のようにフィルター枠の左右を持ち、親指でシャフトカバーを抑えながらフィルターをはずすとスムーズに取りはずすことができます。
- パネルにキズが付かないように柔らかい布などを敷いて行ってください。

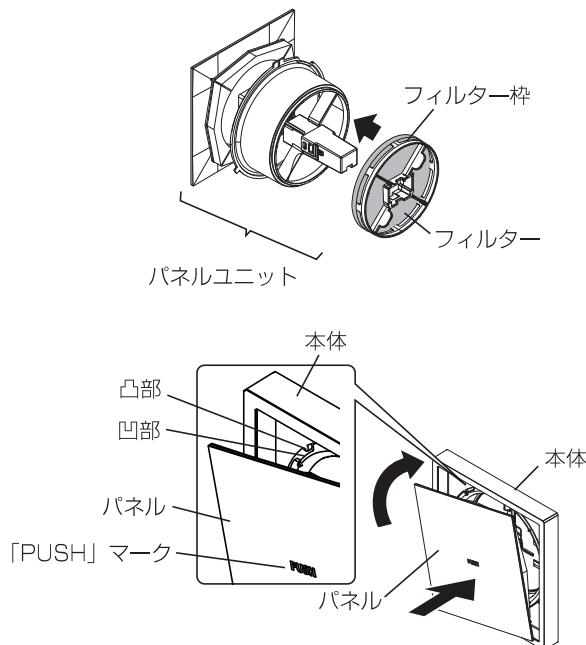
### 3. フィルターの清掃

- 軽く手でたたくまたは、掃除機でほこりを吸い取ります。  
汚れのひどい場合は、水またはぬるま湯（40℃以下）に台所用中性洗剤を溶かしてすぎ洗いをし、よく乾かします。

### お願い

- フィルターは、フィルター枠に入った状態で清掃してください。
- すぎ洗いをした場合は、よく乾かして十分に水気を取ってください。
- フィルターを熱湯で洗ったり、もみ洗いしたり、直接火で乾かすことはしないでください。
- フィルターは、水洗い5、6回を目安に別売の交換用フィルターと交換してください。

# お手入れ つづき



## お願い

- 台所用中性洗剤を使用量の目安まで薄めて使用してください。  
(洗剤は原液のままで使用しないでください)
- 台所用中性洗剤で清掃した後は、中性洗剤が残らないようふきとってください。
- お手入れに下記の溶剤や洗剤、清掃用具を使用しないでください。製品表面に傷つきや破損・変形・変質・変色・割れが発生する原因になります。  
(シンナー、アルコール、ベンジンなどの溶剤、ガソリン、灯油、カビ取り洗剤、柑橘系などの植物系洗剤、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系洗剤、化学ぞうきんの薬品、クレンザーなどの研磨剤入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など)
- フィルターをはずす際に虫やほこりが落下する場合がありますのでご注意ください。
- フィルターを入れ忘れる壁や天井が汚れる原因となりますので、フィルターを入れ忘れないようにしてください。

- パネルの汚れは、薄めた台所用中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取る。
- 取りはずしたフィルターを元通り取付ける。

## お願い

- フィルターはフィルター枠にはまり込んだり、折れ曲がらないように確実にパネルユニットに取付けてください。固定が不十分な場合、虫やほこり侵入のおそれがあります。

- パネルユニットの凹部を本体の凸部に合わせて、パネルを右に回転させて固定する。

- パネル中央部の「PUSH」刻印が読める向きにして取付けてください。

## お願い

- 本体とパネルユニットの間に砂などが付着するとパネルユニットの着脱不具合の原因になりますので、本体とパネルユニットを清掃してください。
- パネルユニットを固定する際、必ず「カチッ」と音がするまで右に回転させてください。固定が不十分な場合、パネル開閉動作の不具合やパネルユニットが落下するおそれがあります。

- パネル中央部を押してパネルを全閉にする。

- パネルを全閉にすることでパネルがシャフトに固定されます。

- パネル中央部を押してパネルを全開にする。

- パネルに貼付けてあるクッションをはがさないでください。
- パネルユニットの動作機構部は分解しないでください。
- 交換用フィルターはお買上げ販売店または下記にお問合せください。



神栄ホームクリエイト株式会社